



つばい たかひと  
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

## Q. 基幹的広域防災拠点とは

## A. 平時の利用が最も重要

愛知県の「基幹的広域防災拠点」と豊山町の「避難所及び賑わい施設」は町始まって以来の大規模事業である。地域住民の声を反映させ、不安を払拭しながら、県と町の共同事業として推進していく必要がある。

道路・水害対策・住宅や畑の代替地・豊山町の将来的展望の観点から質問をする。

**Q** 今回の事業によって町道1号線や町道52号線などをはじめとする道路の拡幅や見直しが予定されている。道路拡幅によって交通量の増加や大型車両の生活道路への侵入が予想される。また、神明・金剛地区の田畑の中の生活道路がほぼなくなる予定となっている。今回の事業で、どのような道路となり、地域住民にとってどのような影響があるのか。

**A** 産業建設部長

県道として整備される町道1号線から町道52号線を主導線とした計画とし、南側の住宅街に車両が流入することが

ないよう誘導していく計画としている。一方で、消防学校や公園の整備に伴い、地域の皆様がご利用されている、神明公園西側の町道などが廃止となり、小牧市側へは県道として整備される町道1号線、町道52号線や、神明公園横の堤防道路を利用していただくこととなる。皆様にはご不便をおかけするが、現在の町道に整備していない歩道や自転車通行帯を設けるなど、歩行者と自動車、自転車を分離することで道路交通の安全が図られるように努めていく。

**Q** 当該予定地では消防学校のほかに公園などの整備も検討されている。これらの施設では、どのような水害対策が検討されているのか。また、東海豪雨の経験が活かされた対策となっているのか。

**A** 産業建設部長

開発によって失われる農地の保水機能を補うため、洪水被害の発生を防止する「調整池」を、大山川の洪水調節池とは別に、地下に設けるこ

とを計画している。この計画に合わせ、町の雨水幹線の延伸も計画しており、計画地に降った雨は町道52号線に布設している雨水幹線を経由して中江川に放流される。中江川は、東海豪雨以降、中江川排水機場の建設、河川改修、調節池の整備など、対策を行っている。治水安全度は向上している。

**Q** 事業推進のために少しでも早く、代替地の情報収集とともに補償額の提示をする必要がある。また、代替地提供者の特別控除など周知し、より多く情報発信していく必要がある。

**A** 産業建設部長

県と町では、補償内容を算定するための用地測量や物件調査などを早期に実施したいと考えている。地権者の皆様から個別にご希望をお聞きし、代替地提供者の調査を進めるとともに、広く情報を収集するため、代替地等登録制度の創設を検討していく。

**Q** 県の「基幹的広域防災拠点」を平時に最大限活用し、町の「賑わい施設の活性化」や「町全体の発展」につなげるべきである。町は継続的な町の発展のために県に対して何を働きかけていくのか。

**A** 理事

基幹的広域防災拠点の事業は、本町の50年の歴史の中でも、これまでにない規模での開発となる。青山地区の発展はもとより、豊山町全体の発展につながるものとなるよう、平時に多くの方に利用されることを、最も重要である。このため県のトップアスリートアカデミーにも活用できるスポーツ施設としての整備や、県内外からの広域的なアクセス道路の整備、公共交通の充実、さらには県営名古屋空港との連携が必要であると考えている。こうした考えは、先日、町長自ら愛知県知事に要望した。引き続き、魅力ある施設の整備がされるよう、愛知県へ働きかけていく。

記念事業

キラメキ事業

3月定例会

議案PICKUP

一般質問